



提出順	7	発言順	7	令和4年5月27日
				午前 午後 10時51分受領

(4枚中No.2)

令和4年5月27日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員

井出 勝正

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和4年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	諸物価の高騰が、市民生活を直撃している。市はこれにどう対処していくのか。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会が窓口となっている「緊急小口資金、総合支援資金」等の利用や返済状況、利用者の実態を、市はどのようにとらえ対処しようとしているか。返済期間の延長や減額、免除を国に求めていくべきではないか。</li> <li>・社会福祉協議会では1800件を超える相談を受け、少ない人員で利用者に寄り添った対応を行っている。福祉部との人員的連携を積極的に行う必要があるのではないか。</li> <li>・3月議会では長野市の子どもの実態調査を例に、安曇野市も実態調査を行うべきだと質問したが、市として長野市の実態調査の結果をどう受け止めているか。長野市はこの4月から「子ども総合支援センター」を発足させ、子どもの総合的な支援を始めた。市の「子ども家庭支援課」も同様の対応ができると考えてよいか。また、市として子どもの貧困の実態に即した計画を立て、実施していく予定はあるか。</li> <li>・子どもの生活を第一に考えるとき、就学援助制度の利用呼びかけはチラシの配布にとどまらず、担当者が保育園や認定こども園に直接出向き、保護者に制度の活用を訴えるべきではないか。</li> <li>・合わせて、生活保護制度の活用も呼びかけ、保護者間にある受給は恥というスティグマを取り除く取り組みをしたらどうか。また生活保護制度の利用の呼びかけチラシやポスターを作成し、福祉部の窓口はもとより、各支所や公共施設に常備掲示したらどうか。</li> </ul> <p>3 市は政府に対し、消費税5%への減税と「インボイス制度」の中止を強く求めていくべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市は、インボイスの市内産業への影響をどのようにとらえているのか。地域経済と市の財政を支えている市内産業の苦難を軽減する取り組みをすべきではないか。</li> </ul>			

提出順	7	発言順	7	令和 4 年 5 月 27 日
				(午前)・午後 10 時 57 分受領

(4 枚中 No. 3)

令和 4 年 5 月 27 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	諸物価の高騰が、市民生活を直撃している。市はこれにどう対処していくのか。		
・今回の諸物価の高騰は、消費税の 3% から 5% 分に相当するといわれている。消費税やインボイスは、市民生活はもちろん、中小企業や飲食業、小売業や様々な自営業、農家やシルバー人材センターの人々をも苦しめている。こんな時期だからこそ、消費税率の引き下げやインボイスの中止を、直ちに政府に強く求めていくべきではないか。			

提出順	7	発言順	7	令和4年5月27日
				午前・午後 10時51分受領

(4枚中No.4)

令和4年5月27日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和4年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	地域の文化財や歴史的景観を活かしたまちづくりの取り組みはどうなっているか。		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 重要文化財の「曾根原家住宅」の所有者は高齢であり、今後の維持管理が困難と伺っている。このような貴重な文化財を屋敷林などの歴史的景観とともに、市のまちづくりの資源として活かしていくことが大切ではないか。市の現在の取り組みと今後の活用はどうなっているか。			